

センターだより

第4号

平成27(2015)年 9月4日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

夏季研修報告

夏季研修は57講座実施
参加人数は延べ1676名!

今年度も夏季休業中の研修では、酷暑の中たくさんの先生方の参加がありました。それぞれの研修で、今後の指導につながる実践的な内容も多く、参加者の活発な意見交流を通して、指導に対する考えを深める機会になったことと思います。先生方が研修で学ばれたことを2学期以降の教育活動の中でも共有・交流していただき、さらに各校園の教育力の向上に役立てていただければ、と思います。

(延べ数 7/27~8/21)

管理職研修	4講座 240名	教育課題別研修(10年研含)	12講座 234名
初任者・フレッシュ研修	8講座 266名	教科領域別研修	1講座 32名
ステップアップ研修	5講座 331名	特別支援教育研修	6講座 444名
ヤングリーダー研修	4講座 42名	情報教育研修	17講座 87名
		合計	57講座 1676名

※研修マナー向上推進にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。引き続き研修のマナーについてよろしく願いいたします。

初任者研修

<8月17日(月) 大和大学にて>

「子ども理解」研修

特別支援が必要な児童・生徒の理解と支援

講師 豊津中学校 指導教諭 山口 正剛
千里たけみ小学校 指導教諭 川向 博子

発達障がいに関心をもち、LD・ADHD・ASDについてDVDの視聴や疑似体験を通して学びました。「困った子は、困っている子」という子どもの捉え方に、多くの初任者が認識を深めていました。



「人権教育」研修

吹田市の人権教育について

講師 教育政策室 参事・指導主事 生駒 靖子
もちあじを尊重することから始める集団づくり

講師 大阪多様性教育ネットワーク

共同代表兼事務局長 沖本 和子さん



ワークに取り組みながら、一人ひとりの「もちあじ」を尊重できる集団づくりについて考えました。

隣や近くの席の人と交流しているうちに、研修会場にもお互いを認め合う雰囲気になりました。

<8月21日(金) 万博記念公園にて>

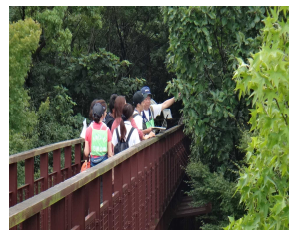
「授業づくり」研修

自然観察・環境学習フィールドワーク

講師 自然観察学習館 館長 横山 京子
ソラードの会のみなさん
万博記念公園事務所 緑地課スタッフのみなさん

小学校と中学校に分かれ、それぞれ2つのプログラムを体験しました。

小学校は、公園内の植物や昆虫の自然観察活動を通して環境学習への認識を深めました。後半は、枝や木の実といった自然素材を使った工作にチャレンジし、素敵な作品を完成させました。中学校は、自然観察のフィールドワークのほか、「緑の循環システム」について学びました。



受講者アンケートより

- 吹田出身ですが、知らなかったことがたくさんあり、理解が深まるにつれ、吹田にはこんなに素晴らしい場所があることを改めて感じました。
- 吹田市の人権教育について打ち出している指針について知ることができました。人権教育と聞くと難しいものにとらえがちですが、できることはたくさんあることを学び、今後の指導に生かしていきたいです。

教育課題別研修 & 特別支援教育研修

保護者対応研修 7/31 (金)

対話や交流を通して、親の立場の理解を深め、子どもと接するスキルを学ぶ「親学習」に取組みました。「親学習リーダー」をファシリテーターとして各グループ内で活発な意見交流がなされ、それを会場全体で共有することができました。「親に求める条件」を考える際には、教師として、親として、また、子として、さまざま立場から意見が出ました。



参加型学習の形式がよかったです。いろいろな人の意見を聞くことができました。正解はないのかもしれないけれど、一人ひとりの気持ち、考えを知ることができたと思います。

校内授業研究の活性化 7/27 (月)

校内研究授業における研究協議を充実させるためのポイントや協議の進め方について学びました。ファシリテーターとしてまとめていくことの難しさを感じながらも、そのポジションの重要性について改めて考える場となりました。



出てきた意見のまとめ方や全体での話の焦点のあて方を知れたことがよかったです。成果と課題をはっきりさせて、次の授業につながるまとめをしていかないといけないと思いました。

人権教育研修 8/21 (金)

「当事者が語る性同一性障がいへの理解と学校支援」

講師：ゲストスピーカー 中西 ゆうき さん

「トランスジェンダーの児童・生徒たち」と題し、当事者である中西さんにご自身の経験を中心にお話しいただきました。「私の性別ってなんだと思いますか？」の問いかけから始まり、LGBTの基礎知識やトランスジェンダーの子どもを支える三本柱（家庭・学校・病院）等について学びました。学校としてできること、そして、しなければならぬことを考える時間となりました。

なんとなくわかっていただけでしたが、知らないことがとても多かったです。言葉は知っていても、知識がないことを思い知らされた研修でした。個を理解することはとても大切ですが、周りをどのように理解させるのか、巻き込むのかも大切だと感じました。どのように取組むのがよいのかを考えるきっかけになりました。

支援学級研修 8月18日 (火)

「わが国におけるインクルーシブ教育システムの動向と支援を必要とする子どもの指導・支援の在り方」

講師：大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 特任教授 須田 正信 先生

今年度の支援学級研修にも、支援学級担任・介助員の先生をはじめ多くの先生方にご参加いただきました。特別支援教育の全国的な動向と推移から、来年度から施行される「障がい者差別解消法」でキーワードとなる「合理的配慮」についてのお話まで、多岐にわたり、示唆に富んだお話を伺いました。長年、障がいのある子どもとその保護者に寄り添いながら支援してこられた須田先生の、「合理的配慮」とは、常に子どもを真ん中において保護者と学校がしっかりと力を合わせてしていくもの、というお話や、障がいをもつ子どもの保護者の心情や障がい受容についてのお話にはとても説得力があり、多くの先生方に共感いただいたとともに、これからの特別支援教育の在り方について深く考えさせられた2時間でした。

通常学級にも特別支援の必要な子どもが在籍する中、教師が、個々に応じた支援をする必要が急務になっていると思います。子どもの障がいを受容して保護者に共感的に寄り添い、子どもの成長とともに喜んでいける教師を目指していきたいです。

いじめ防止対応研修 7/31 (金)

「大津いじめ問題」の第三者委員でもある龍谷大学の松浦善満先生にご講演いただきました。いじめの今日の特徴やいじめ問題の欧米比較についてのお話に続き、克服に向けての有効な取組みについての提言がありました。その一つである「ピア・サポート」の紹介は新たな学びにつながりました。



子どもたち自身で解決する「ピア・サポート」の取組、傍観者をいかに減らしていくかが、いじめの防止においてとても大切ななと思いました。

応急手当普及員講習 8/18 (火) ~ 20 (木)

吹田市消防本部・救急課職員の指導のもと、3日間に渡り、AED を用いた心肺蘇生法の実技やシミュレーション訓練等に取組みました。今年度は8名が応急手当普及員の資格を手に入れました。各校・園において普及員としての活躍が期待されます。

救命処置に対する知識を深めることができ、傷病者に対して臆することなく冷静に対応できる自信ができました。学んだことを学校で広めていき、少しでも多くの命を救うことができるようにしたいです。



特別支援教育Co. 研修〈共通②〉 8月3日 (月)

「個別の指導計画の書き方 実践編」

講師：関西国際大学 相談員 多田 智栄子 さん

6月15日に行った「個別の指導計画の書き方 基礎編」に引き続き、2回目の今回は実践編ということで「実際に活用できる指導計画の作成」を目標に「インシデントプロセス法」による指導計画の作成方法や、「支援カード」を使った校内での活用法についてお話しいただきました。ぜひ各校園で、指導計画を子どもの支援に活用していただきたいと思います。

・事前準備が大変で負担になるケース会議をインシデントプロセス法を活用して行っていけそうだった。
・一人ひとりを丁寧に観察し、一人の教師ではなく学校全体で情報を共有し、手立てを見つけていく、という方法に勇気付けられた気がします。

授業づくり研修「運動会ダンス指導研修」

講師 地域教育部 スポーツ推進室 田畑 千恵 主幹 辻 公代 主幹

今年度より「運動会ダンス指導研修」を開催。低学年では「おどるポンポコリン」、中学年では「銀河鉄道999」と課題曲を設定し、子どもたちが楽しく取組めるよう、発達段階に応じた基礎的な運動を取入れました。研修前半は個別のダンスの振付けを中心に行い、後半はグループワークとして、曲の間奏部分をつかって集団での振付けを考えていただきました。先生方の意欲的で熱心に取組む姿が見られました。



運動会の団体演技に生かすことのできる動きやヒントをたくさん得ることができました。

ポイントをおさえながら教えてもらい、すごく分かりやすかったです。

低学年の児童がとても楽しそうにおどる姿が想像できました。

子どもたちが心から楽しめるような運動会になるよう、今日教えていただいたことを生かしたいです。

自分たちで考える時間やストレッチの時間も含め、すごく勉強になりました。

体育の研修は少ないので、このような研修をしていただけるとありがたいです。

ステップアップ研修

夏季の研修は「授業づくり」をステップⅠ・Ⅱ合同研修として行いました。さらに、ステップⅡでは「子ども理解」と「人権教育」研修も開催しました。延べ331名の参加があり、どの講座も熱心に受講する姿でいっぱいでした。

8月4日(火)授業づくり①

前半は、小学校「算数」・「社会」、中学校「道徳」の講義や演習を行いました。後半は、「食育」と「表現活動(コミュニケーション)」から選択し、それぞれの活動に取組みました。



(算数) いろんな考え方の発表の仕方であったり、出した後のまとめ方であったり、すぐに使えるようなヒントが得られました。ノート作りにも力を入れていきたいです。



(社会) ただ教え込むだけでなく問いから調べていく授業づくりが大切だということに改めて気づかされました。もっと視野を広げて、身近なところから教材を見つけて活用していこうと思いました。



(道徳) 道徳の担当をしていて、少しずつ道徳の授業の作り方がわかるようになってきたので、より一層理解を深めることができました。改めて、教材の選び方で全て変わると思いました。

8月6日(木)授業づくり②



8月4日の選択研修、算数・社会・道徳で学んだことを生かし、グループ毎に授業づくりの過程や指導の工夫を交流し、授業案を作成しました。

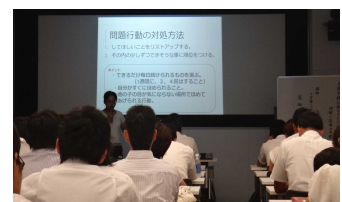
全体交流ではプレゼンテーション形式での発表や模擬授業形式の発表等、各グループの工夫も見られ、大きな学びの場となりました。

8月6日(木)ステップⅡ研修

「支援学級在籍の子どもへの理解と指導の実際」

講師 千里第三小学校 教諭 廣瀬 文

支援学級の児童が抱えている課題に注目し、具体的な支援方法やその取組みの実際の様子について学びました。研修の後半はトランプを使った多様性理解を目的としたゲーム「バーンガ」を行い、感じたことを交流しました。



教育研究大会の忘れ物

お心当たりのある方は教育センター (6388-1455) まで

- ・赤の水筒マグ (象印)
- ・ピンクのハンドタオル (花の刺繍あり) (HOTMANのタグ)
- ・黒地にピンクの縁で花のハンドバッグ柄のハンドタオル (feiler製)

9・10月の教職員研修予定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象	
リスク 研修 スクール リーダー A	72	「情報セキュリティ」 講師 NPO法人 奈良地域の学び推進機構 京都府警ネット安心アドバイザー 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 石川 千明 さん	教育センター 視聴覚室	10月19日(月) 15:30～17:00	首席	
教科 領域 別 研修	111	スーパーティーチャーに学ぶ① 「小学校算数科の公開授業と講演」 講師 筑波大学附属小学校 教諭 田中 博史 先生	片山小学校	9月16日(水) 14:00～17:00	教職員	
	112	スーパーティーチャーに学ぶ② 「小学校国語科の公開授業と講演」 講師 筑波大学附属小学校 教諭 二瓶 弘行 先生	千里第二小学校	10月14日(水) 14:00～17:00	教職員	
	105	中学校外国語(英語)科 「到達目標と評価について」 講師 大阪府教育センター 信田 清志 指導主事	教育センター 視聴覚室	9月14日(月) 15:45～17:00	中学校教職員 ※中学校英担者を兼ねる	
キャリア アップ 研修	10年経験者 研修	83	中学校代表研究授業 授業者 古江台中学校 教諭 兒島 正子	古江台中学校	10月29日(木) 14:25～17:00	中学校 10年経験者教員
教育 特別 支援 研修	事例研	222	「学習領域②」 事例提供 市内学校園 指導助言 大阪医科大学LDセンター 西岡 有香先生	教育センター 視聴覚室	10月22日(木) 15:45～17:00	教職員
	特別支援教育 コーディネータ 研修	212	「状況調査について」 講師 吹田市立教育センター 指導主事	教育センター 視聴覚室	10月26日(月) 15:45～17:00	教職員
情報 教育 研修	情報モラル セキュリティ 研修	344	「情報モラル研修」～スマホ・ケイタイ安全教室～ 講師 NTTドコモ	教育センター 研修室	10月19日(月) 15:45～17:00	情報教育推進委員 教職員
	栄養教職員 情報教育研修	341	「ブログの作成」 講師 ベネッセコーポレーション	教育センター 情報科学室	10月20日(火) 15:00～17:00	栄養教職員

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

- 公開授業と講演 -

講師 筑波大学附属小学校 田中 博史 先生

スーパーティーチャーに学ぶ①

毎年、小学校教育研究会算数部と共同開催してきた「スーパーティーチャーに学ぶ①(小学校算数)」の研修講座ですが、今年度は筑波大学附属小学校 教諭 田中 博史 先生をお招きして開催します。

テーマは「算数科における『思考力・表現力』を高める授業づくり」で、授業では3年生の数量関係(数と計算)を扱います。是非この機会に、子どもたちが自ら考え表現できる算数の授業について、一緒に学びましょう。

- 日時 平成27年9月16日(水) 14:00～(公開授業) 15:00～(講演)
- 会場 吹田市立片山小学校 体育館(公開授業・講演)

【研修番号111】で研修申込システムにて申込みください。

【講師紹介】1958年山口県生まれ。山口県公立小学校教諭を経て、1991年より筑波大学附属小学校教諭。共愛学園前橋国際大学講師兼任。全国算数授業研究会理事・算数授業ICT研究会代表・日本数学教育学会出版部幹事。NHK学校放送番組企画委員として、「かんじる数学1・2・3」「わかる算数6年生」や総合テレビ「課外授業へようこそ」など企画及び出演。【著書】『子どもが変わる授業』(東洋出版) 『わくわく算数忍者』(文溪堂) 『田中博史の力がつく算数の授業55の知恵』(文溪堂) など

- 公開授業と講演 -

講師 筑波大学附属小学校 二瓶 弘行 先生

スーパーティーチャーに学ぶ②

今年度は小学校教育研究会国語部・中学校教育研究会国語部と共同開催とし、筑波大学附属小学校 教諭 二瓶 弘行 先生をお招きして「スーパーティーチャーに学ぶ②(小学校国語)」の研修講座を開催いたします。

「詩」を扱った授業、そして「確かな言葉の力を育む国語の授業づくり」をテーマとした講演を通して、学びを深めましょう。

- 日時 平成27年10月14日(水) 14:00～(公開授業) 15:00～(講演)
- 会場 吹田市立千里第二小学校 体育館(公開授業・講演)

【研修番号112】で研修申込システムにて申込みください。

【講師紹介】筑波大学附属小学校教諭。早稲田大学第一文学部卒業後、新潟県内の公立小学校に十年間勤務。その後、上越教育大学大学院修士課程を修了。1994年から現職。立教大学兼任講師。全国国語授業研究会理事、国語教室ネットワーク「ひろがれ国語」代表。【著書】『子どもがどんどんやる気になる国語教室づくりの極意』(東洋館出版社 2015年)

お知らせ

9月1日(火)より野口 朋子(のぐちともこ)発達相談員(作業療法士)が着任しました。今後、巡回相談等で学校・園を訪問することがありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

9・10月のさつきらるーむ(初任者教員等相談室)は、
9/8(火)、10(木)、10/8(木)、13(火)です。
申込は、教育センターまで(メールまたは研修申し込みシステムにて)